

## 1 受審事業者

経営法人・設置主体（法人名等）：恵那市	
名称：おさしま二葉こども園	種別：保育所型認定こども園
代表者氏名：園長 里見 みゆき	定員：240名
所在地：岐阜県恵那市長島町永田441番地1	TEL：0573-25-2265
受審回数： 4回	
評価年月日（評価認定書の記載日）：令和2年3月6日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和3年3月9日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和4年3月14日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和5年3月13日	

## 2 総 評

### ◇特に評価の高い点

- ・市で統一的に設定された、理念・基本方針・重点等に基づき、質の高い保育計画が策定されている。
- ・園内で公開保育を行い、参観方法に工夫を凝らし、全員が参加できる研究会を実施している。公開は専任保育士年1回実施としており、園全体として回数を重ねることで、実践力を身に着け自己研鑽力を高める姿勢が顕著である。
- ・恵那市が就学前児童の基本的生活習慣の習得のために設定したチャレンジ7の取り組みをさらにチャレンジ5，チャレンジ3と、各年齢に応じた園独自の目標を設定し、子どもたちのやりたい気持ちを汲み上げ、次の取り組みに繋げている。

## 3 第三者評価結果に対する事業所のコメント

恵那市の指定管理園として、保育の質の向上を目指している点を評価していただきありがとうございます。子育てニーズが多様化するにつれ、園の担う役割は大きくなっていると思われまます。保護者に寄り添いながら、子どもたちが「明日もまたこども園に行きたい」と思うことが出来る園を目指して、安全で安心できる保育を心掛けていきたいと思ひます。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
1-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>収益性、職員体制、関係機関連携及び地域社会との関係等について中期的なビジョンを明示して取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標については職員室の壁に掲示し、常に職員の目に留まる様にしている。</li> <li>・研究会などで、0歳児から5歳児まで子どもの姿を意識して計画に反映させ子どもの育ちを確認していく。</li> <li>・職員の研修は勤続年数に応じて選択して受講する。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>恵那市の指定管理者という立場にあつて、財務関係の計画に十分に関与をすることはできないが、保育内容に関しては、恵那市教育委員会の基本理念や方針を受け、綿密な計画を策定している。また、“学年”という小単位の会議さらには職員会議を通し、何度も検討を重ね、見直しを行っている。</p>	
1-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>国の示す職員配置基準を上回る職員配置により子育て支援の実施体制を確保する共に、機関連携（小学校との接続、心身障がい児療育機関等）に配慮し、かつ地域社会（老人福祉施設、乳幼児学級、中高生職場体験等）との交流等に目配りした計画を策定している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市の保育課程から全体の計画、年案、月案、週案にリンクして行うよう見直しを図る。</li> <li>・常に現在の子どもの状況を把握しながら、一つ下の学年や一つ上の学年と交流するよう計画を立てる。</li> <li>・行事計画について学年ごとに話し合い。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>中・長期計画をふまえ「全体の計画」として策定がなされている。さらには各学年別に、年案、月案という流れの中で整理されている。ただ詳細に見ると、一部記載に漏れがみられる。実際には重要な活動として実践はされており、今後詳細に検証を重ね是正をお願いしたい。</p>	
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
1-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>定期的開催される保護者会開催時や「えんだより」、個別メール等を通じて行事計画を保護者等にきめ細かく周知し、理解を促している。</p>	

施設の取り組み内容

- ・園での行事計画を保護者会役員会で話し、総会で承認を得る。
- ・行事が近くなってきたら詳しい内容の通信や、メールなどで知らせる。
- ・保護者に依頼し、環境整備や園内清掃をお願いする。

**継続評価結果**

事業計画の保護者への説明は適切に行われており、「保護者評価」という形で行うアンケート調査においても、ほぼ100%近く肯定的に受け止められている。また本園では、保護者参加を大切な課題としており、プールの組み立てや窓拭きなどの活動をお願いしている。親にとっては、そうした活動を通して園の運営の一端を担うとともに、保育活動を垣間見る機会となり、より好ましい養育への意識高揚が図れるものと評価をしたい。なお願わくば、保育のなかでの位置づけ、意義、保育者の対応等、指針として菜などの中に記載されることを願う。

**I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組**

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

1-4-(1)-1 保育の質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している	a
--	---

前回評価結果：a  
 全職員を対象に施設独自の自己評価票を作成し、「自己評価」に取り組んでいる。その他、今年度は新たに第三者評価の受審に取り組んだ。

施設の取り組み内容

- ・年に一度は園の行っている内容について保護者評価を行う。
- ・評価に基づき、次年度の年間計画を行う。
- ・第三者評価を継続受審する。

**継続評価結果**

正規勤務職員は毎年1回、公開保育を伴う園内研修を行っており、自己評価や保護者評価とともに、質の向上に向けた取り組みの大きな柱としている。公開保育の全員参加は困難であっても、協力し合いできる限り多くの参観を促すとともに、ビデオ録画の視聴により全員参加の研究会へと結びつけている。また自己評価については、独自の評価シートを作成し5段階評価でチェックを行うが、管理者のチェックと対照しまた面談を通してより高い保育を目指している。

**評価対象II 組織の運営管理**

**II-2 福祉人材の確保・育成**

	第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a

<p>前回評価結果： a</p> <p>毎年度、管理者である市（行政）との協議を通じて、利用児童数に見合った人材（所要配置定数）の確保に努めている。その他、新規採用者を中心に職場内研修に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育成校と連携をし、必要な人材確保に努めている。</li> <li>・ 保育教諭のほかに、栄養士、調理師、看護師の配置も行っている。</li> <li>・ 新任研修、園内研修など提供する保育の向上に向けて研修を行っている。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>保育者の在り方については「職員の葉」「新任保育士の葉」の中で熱く語られており、育成への道標としている。そうした中、人材確保については、近隣あるいは県内遠方さらには隣県の育成校にも働きかけ、怠りがないように努めている。今後はさらに、市への働き掛けを通して、心理職や言語聴覚士など、発達支援をより高める専門職の導入の検討もお願いしたい。</p>	
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>	
<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>働き方改革の流れを理解し、年次有給休暇の法定取得目標（年5日以上）に取り組んでおり、職員各層とも有給休暇が取りやすいとプラス評価している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の勤務について園長・副園長で管理し、有給の取得回数など月締めごとに確認するようにする。</li> <li>・ 働きやすい環境づくりや、話しやすい雰囲気づくりに努め、面談など職員の話聞く機会を持つ。</li> <li>・ 職員の状況を把握し、ワーク・ライフ・バランスに配慮する。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>大規模園である特性を活かし、またいくつかの職場を抱える法人の良さを発揮させ、働きやすい職場を目指している。特に有給休暇は取得しやすくなっていると考え。さらに管理者は、気さくさと職員の心情に寄り添う気持ちを保ちながら面談を行い、話を聞くとともに適切なアドバイスに心がけている。</p>	
<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>	
<p>Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>月1回の割合で市（行政）幼児教育課主幹（乳幼児教育施設長相当職）の訪問を受け、教育・保育面のアドバイスを受けている。また、（学校）法人施設で勤務（施設長経験者）経験のある者を嘱託職員として採用し、新任職員現員訓練（月2回）や巡回指導（月1回）等に参画し、職員の支援技術の向上を図っている。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 望む職員像について職員の葉をもとに職員に周知する。</li> <li>・ 職員一人一人が個別の目標を設定し、個別面談で適切な目標になっているか確認する。</li> <li>・ 期末に目標設定の確認を行う。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>「職員の葉」「新任保育士の葉」の中で、「期待する職員像」については事細かに記載されている。ただ網羅的過ぎ具体化し難いのではないだろうか。整理し端的に述べるとよりわかりやすいと考える。一方、各職員が年頭に立てた個人目標は、年度途中で個別面談等を通し点検が行われ、より適切な目標となるよう努めている。</p>	
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>	
<p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>副園長を実習担当責任者として「事務分掌表」で明示している。「実習生受け入れマニュアル」を策定し、年間4名～5名の福祉系学生研修等に対応している。また、「中学生・高校生の実習（職場体験）マニュアル」を整備し受け入れしている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵那市こども園実習の受け入れの手引きにより、実習の受け入れの基本姿勢を明文化している。</li> <li>・ 読み聞かせなど積極的に保育への参加が出来るプログラムにし、必要に応じて部分実習や一日自習を行う。</li> <li>・ 指導者と共に指導案作成の指導などを行い、共に学ぶ姿勢で取り組んでいる。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>近隣の保育士養成校の学生の受け入れは定期的に行われ、また中学生の職場体験や高校生のインターンシップの場としても利用されており、手引き書に従い適切に対応をしている。さらに夏休みになると中学生等のボランティア申し込みがあり、手引き書に従い受け入れを行っている。なお、とりわけ中学生に対して、見ているだけにならないよう、絵本の読み聞かせをお願いする等、課題を提示して意欲を喚起している。</p>	

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

<p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>	
<p>Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>市（長）が基本方針、事業内容、予算等について議会の承認を得て当該法人を指定管理者に指定し、事業を実施している。その他ホームページや「えんだより」等で関係情報を公開している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規職員全員が当番制で週1回を目安にホームページを更新する。</li> <li>・ 年度初めに苦情受付について文書で保護者に通知している。第三者評価について保護者に知らせている。</li> <li>・ 基本理念はホームページで発信している。</li> </ul>	

<b>継続評価結果</b>	
市の指定管理者であるため、予算・決算等の情報は法人や園の独自情報ツールにおいては掲示していない。一方、園の実際活動を含む様々な内容の報告は、ホームページ上で公開をしている。とりわけ「えんだより」や「えんちょうせんせいのこにこ通信」は、頻回に発信をしている。また地域自治会が発行する「おさしま通信」にも多く寄稿し、地域に知らしめる努力をしている。	
Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>市の各種関係規程（運営基準、設置条例、管理規則、施行細則、個人情報保護、守秘義務等）を準用するとともに、職務分掌表を定め各職員の責任を明確にするなど、公正かつ透明性の高い経営・運営に努めている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務分掌について明文化し、職員に周知している。</li> <li>・事務、経理について恵那市の監査を受け定期的に確認している。</li> <li>・一年に一度、岐阜県の監査を受け、指摘事項に基づいて経営改善を実施している。</li> </ul>	
<b>継続評価結果</b>	
経営・運営の主たる部分は、市の指定管理により市の監査を受け、また市との相互確認を繰り返すことで適正さを保つようにしている。また保護者代表も参加をする運営委員会が年4回開催され、透明性の確保に一役を果たしている。	

#### 評価対象Ⅳ 保育内容

##### Ⅳ-1 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>恵那市共通の保育課程に基づく園目標の実現に向け職員会や、学年会（3歳未満児会、3歳以上児会）等の会議を行い子どもの発達に応じた指導計画を策定している。園内研修で子どもの発達に対する研究を行い保育課程の編成に活かしている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的な計画について恵那市の教育・保育課程に基づいて作成している。</li> <li>・全体的な計画は、こども園の理念、保育方針に基づいて作成している。</li> <li>・全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成する。</li> <li>・全体的な計画は、保育に関わる職員が参加して作成している。課程は、恵那市のこども園の手引きに基づいて作成している。</li> <li>・全体的な計画は、毎年評価を行い、次の作成に生かすようにしている。</li> </ul>	

**継続評価結果**

当園は、恵那市の指定管理者の指定を受けた園であるため、全体的な計画については恵那市の教育・保育課程に基づいて作成されているが、個別の課題については、恵那市が実施する園評価の結果を踏まえ、園で定期的に見直しを行っている。

**IV-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開**

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>園内のテラスの段差が分かりやすくなるよう、色分けをしたり、カーペットを敷くなどの工夫がされている。壁面制作などを子どもと一緒にいき、楽しく生活できる空間になるよう工夫している。コロナ禍でクラスでの活動が困難な時期に、手作りおもちゃを多く制作し、それを写真等記録として残し、その後の活動に活かしている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。</li> <li>・保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。</li> <li>・一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所を提供している。</li> <li>・食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されるようにしている。</li> <li>・手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全に配慮している。</li> </ul>	
<p><b>継続評価結果</b></p> <p>保育室は広く新しい施設であり、清潔に保たれている。室内は、園児が季節を感じるができるよう、年齢に合わせて職員が工夫し、各部屋の壁面に園児と職員と一緒に制作した飾り物を設置している。</p>	
IV-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>定期的に園内研修を行い、また公開保育を行うなど、全職員で必要な支援を考えられる体制づくりに努めている。肯定的な言葉を使い、禁止の言葉や否定の言葉を使わない様に心掛けている。また、職員会や園内研修などで子どもにかけ言葉についてふさわしいと思われる言葉について考える機会を設けている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。</li> <li>・子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。</li> <li>・自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみ取るようにしている。</li> <li>・子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。</li> <li>・子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話すように心がける。</li> </ul>	

・せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。

### 継続評価結果

集団に馴染めない子に対しては、クラス担任だけに任せるのではなく、担任以外の職員も一緒にフォローしながら対応している。園児への声掛けも、子どもによって特性を考慮し、考えた声掛けが行われている。

IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。

a

前回評価結果： a

恵那市教育保育（幼児教育）4本柱 [①あいさつ励行、②読書活動（本の読み聞かせ）③遊びや体験活動の充実、④園独自の活動（動かそう心と体）]を基本方針のもと、家庭と連携して自分でやろうとする気持ちを育てることを目的に、3歳、4歳、5歳と年齢に応じた基本的習慣の習得を目指す「じぶんでやるよチャレンジ活動」（5歳児→①はやくねる、②おはようをいう、③じぶんできがえる、など7項目）に取り組んでいる。

### 施設の取り組み内容

- ・一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
- ・基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
- ・基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
- ・一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
- ・基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。

### 継続評価結果

恵那市が就学前児童の基本的な生活習慣の習得のために設定したチャレンジ7の取り組みを、さらにチャレンジ5、チャレンジ3と、各年齢に応じた園独自の目標を設定し、子どもたちのやりたい気持ちを汲み上げ、次の取り組みに繋げている。

IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。

a

前回評価結果： a

3歳以上児を中心に異年齢交流に着目した遊び（朝活動）を園庭で行っている。ドッジボール、サーキット、砂場遊び、縄跳びなど、年齢を超えた「仲間づくり」の場となっている。職員は担当パートごとに遊びの様子や動きを観察してプログラムの改善等を話し合うなど、遊びを豊かにする保育に積極的に取り組んでいる。

### 施設の取り組み内容

- ・園での活動は運動遊びに重点を置いて研究会を行っており、園内研修をしている。
- ・遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
- ・戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。



- ・生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
- ・社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
- ・その他、着眼点にある援助や配慮はいつも念頭に置いて保育するよう心掛けている。

#### 継続評価結果

今年度は、園での活動を運動遊びに重点をおいて研究活動を行っており、0・1歳児、2・3歳児、4・5歳児と3グループに分かれて研修や公開保育を行い、成果を日々の保育に活かしている。

IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

前回評価結果： a

保育室を「遊びコーナー」に分けて、子どもが手に取りやすい位置に玩具を置いて遊びを促すなど、興味関心を持って日々過ごすことができるよう配慮している。また、保護者には日ごろからできるだけ「生の言葉」（日常語）で積極的に話しかけると共に、連絡帳の記載にもそうした配慮をするなど保護者との信頼関係の醸成に努めている。

#### 施設の取り組み内容

- ・0歳児が長時間過ごすことに適した生活と遊びの環境への工夫をしている。
- ・0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。
- ・子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。
- ・0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮している。
- ・0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行うようにしている。
- ・保護者との連携を密に出来るようコミュニケーションを取ることに努めている。

#### 継続評価結果

コロナ禍にあって、保育参観等が困難なこともあったため、出来るだけ園での生活ぶりを保護者に詳しく伝え、保護者からも家庭での様子を聞き取り、園での日々の保育に活かしている。保育日誌を活用した、相互のやり取りをきめ細かく行っている。

IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

前回評価結果： a

広い園舎や園庭を活用して、園舎探索や園庭遊びなど体を使った遊びに取り組んでいる。職員による危険箇所等の点検を行うとともに子どもたちに危険回避の方法を知らせるなど、危ないとはどのようなことを学ぶようにしている。その他、保育教諭が遊びの様子に応じて子どもの行動を言語化するなど、友だち同士の関わり支援に努めている。

#### 施設の取り組み内容

- ・保育教諭が子どもをよく観察し、一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分であろうとする気持ちを尊重している。
- ・子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育教諭、看護師等職員が関わっている。

- ・子どもの自我の育ちを受け止め、保育教諭、看護師等職員が適切な関わりをしている。
- ・保育教諭、看護師等職員が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。
- ・コロナ禍で難しい側面があるが異年齢児との関りを持つようにしている。

### 継続評価結果

園庭での遊びの中で、異年齢児との交流が持てるよう活動の様子を見せ、楽しむ機会を増やしている。その中で、異年齢同士の自然な声掛けができる環境を作っている。保育教諭が子どもをよく観察し、一人ひとりの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重する保育が行われている。

IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

前回評価結果： a

保育活動全般にわたり態勢が整えられ、適切な取り組みがなされている。とりわけ広い園庭や木の香り漂う園舎が支えとなり、安定した集団が形成され、子どもたちは伸び伸びと育っていると認められる。また家庭と一体的な子育てが標榜され、ホームページなどの活用により、こまめな実践が行われている。

### 施設の取り組み内容

- ・3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が個に応じて柔軟に関わっている。
- ・4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が個に応じて柔軟に関わっている。
- ・5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が個に応じて柔軟に関わっている。
- ・子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮をしている。

### 継続評価結果

年間を通し、園児それぞれが成長できるよう計画し、振り返りを行っている。年長児に関しては、恵那市の接続期カリキュラムを活用し、コロナで学校見学ができない中、引継ぎには詳細を伝えるようにしている。

IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

前回評価結果： a

発達支援事業所、医療機関等との連携を積極的に推し進め、支援会議を経て、サポートブックと称する個別支援計画書が作成されている。また体の不自由な子どもに対応できるよう、バリアフリー化も進めており、障害児保育に対する先進性が窺われる。

### 施設の取り組み内容

- ・新設の園舎でバリアフリーになっており段差が少なく、明るく広い室内になっている。
- ・支援に必要な保育教諭の加配が配置されている。

- ・支援が必要な子どもに対して、個別の支援計画を作成している。
- ・支援が必要な子どもが行事に参加できる方法を考え、保護者と連携して参加している。
- ・サポートブックを作成し、個別の支援計画を保護者と共有している。
- ・職員は支援児の情報を職員会で共有している。

#### 継続評価結果

園舎は、バリアフリーになっており段差が少なく、明るく広い室内になっている。支援を必要とする子どもには、恵那市子ども発達センター、園医、保健センター等と連携し、協力して支援に取り組んでいる。対象児ごとにサポートブックを作成し、個別の支援計画は保護者と共有している。

IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。

a

前回評価結果： a

いつも同じおもちゃではなく成長に合わせたものを準備している。新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、思うような異年齢交流が難しかったが合同保育や延長保育等の機会には交流できるように配慮している。延長保育担当の職員に子どもの状況について申し送りをし、保護者に子どもの状況について適切に伝えられている。

#### 施設の取り組み内容

- ・職員会で長時間保育の過ごし方を協議し子どもが安心して過ごせるように配慮している。
- ・1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となるようにしていく。
- ・家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
- ・子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
- ・年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
- ・子どもの状況について保育士間の引継ぎを行っている。

#### 継続評価結果

職員会で担当となる職員が、未満児・3歳児・4・5歳児とそれぞれのグループ毎に計画を出し合い、長時間保育の過ごし方を協議し、子どもが安心して過ごせるように配慮している。また、特に注意する必要ある事項については、職員間で確実に伝えるようにしている。